

# ～FRP製産業廃水処理槽～

## 下水道法・水質汚濁防止法



# はじめに ～会社紹介～



弊社は浄化槽をメインに全国展開している  
FRP製廃水処理槽メーカーです

FRPならではの特徴を活かし  
お客様にメリットのあるご提案を致します

- 社名：フジクリーン工業株式会社
- 本社所在地：名古屋市千種区今池四丁目1番4号  
TEL. 052-733-0325
- 創業・設立：1961年2月16日
- 資本金：3億円
- 売上高：180億円
- 従業員数：500人
- 代表者：社長 木村秀昭
- 事業内容：浄化槽・産業廃水処理ユニット・プロワの製造販売、  
設計・施工・メンテナンス



## し尿及び生活雑排水**以外**の**事業系廃水**を処理する処理施設

水質汚濁防止法、下水道法などで基準となる放流水質が設定されている  
放流先が「下水道区域」「下水道区域外」がによって基準・処理槽も異なる

### 廃水例



#### 厨房

- ・ 給食センター
- ・ 学校給食
- ・ 工場食堂
- ・ スーパー
- ・ ホテル厨房
- ・ 病院厨房



#### 医療・実験

- ・ 人工透析
- ・ 実験廃水
- ・ 医療系雑排水



#### 食品製造

- ・ パン菓子類
- ・ 肉製品
- ・ 水産加工
- ・ カット野菜
- ・ 乳製品
- ・ 清酒



#### その他

- ・ 搾乳
- ・ 洗卵
- ・ 鶏舎
- ・ リネン
- ・ 中水利用

# 廃水処理槽設置の意図

事業活動の中で様々な廃水が日々発生しますが、事業者様によってその廃水濃度は様々です。

最終的に放流先は下水道や河川に行きつきますが、そこには放流基準がございます。

一般的に食品工場・厨房の廃水は高濃度であり、そのまま放流することは環境にも悪影響を与えます。

それらの課題をクリアする為、廃水処理槽を設け安全に事業活動を実施するべく弊社にご相談を頂きます。

弊社はF R P 廃水処理槽のメーカーであり、

お客様のニーズに沿った提案が出来ると思いますのでぜひご協力させていただきます。

水質汚濁防止法・下水道法により必要となる  
**FRP製産業廃水処理槽**をご案内致します

---

# どのような状況でご提案に至るか

## ①建屋の新設・移転に伴う処理槽の設置

建設場所によっては下水道法、水質汚濁防止法によって処理槽が必要になる可能性があります。フジクリーン工業では条例確認の上、処理槽の必要性も含めご案内致します。

## ②建屋の改修に伴う処理槽の入れ替え

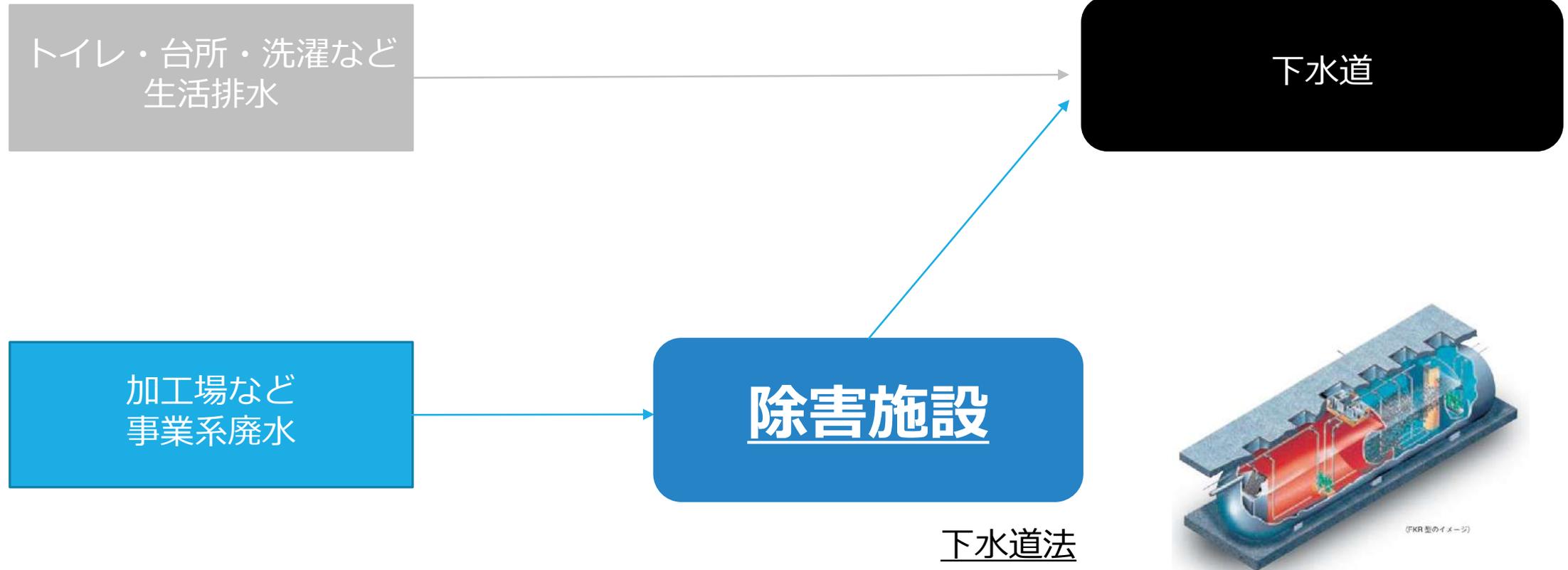
既存で処理槽がある場合、増産や改修によって容量が間に合わなくなる可能性があります。フジクリーン工業では現地調査の上、処理槽の必要性も含めご案内致します。

## ③処理槽性能未達・老朽化による処理槽の入れ替え

処理槽性能を満たしていない状況や経年劣化での運転は法的な面、維持管理の面で危険です。フジクリーン工業では現地調査の上、処理槽の必要性も含めご案内致します。

## 処理槽の分類【下水道地域の場合】

下水道地域の場合、廃水経路は下記ようになります。



加工場に対して処理槽を設ける必要が御座います。

## 処理槽の分類【河川放流の場合】

河川放流（下水道未整備地区）の場合、2つの処理槽が共存する形となります。

トイレ・台所・洗濯など  
生活排水



合併処理浄化槽

浄化槽法

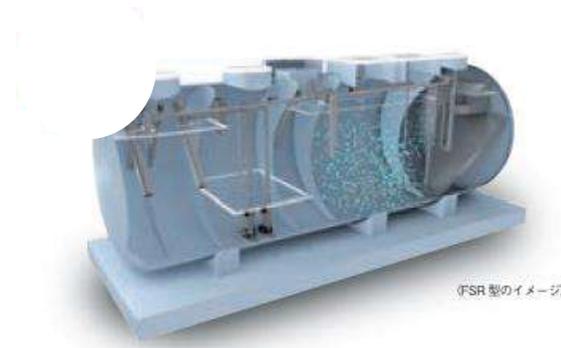


加工場など  
事業系廃水



**産業廃水処理槽**

水質汚濁防止法



それぞれの排水に対して処理槽を設ける必要が御座います。  
この場合、浄化槽もフジクリーンでご案内しますので建屋一式の処理を請け負えます。

# フジクリーン製FRPのメリット

※FRP：ガラス繊維強化プラスチック

## ①安価な水槽

従来のRC造と比較した場合、非常に安価に設計できます。  
また、機器・配管類は工場にて水槽内に組付して出荷するため、  
現場での水槽内の配管工事は不要です。

## ②自由な設計

必要な水槽容量に従って、  
円筒タンクの長さとお本数を調整して製作できます。  
また、中継ポンプ槽や沈殿槽のような水槽も製作できます。

## ③容易な施工

基礎コンクリートの上に設置するだけです。  
RC造またはコンクリート躯体に必要な  
躯体打設・防水・アンカー打設・槽内作業が一切不要です。  
配管・電気工事もFRPタンク～機器間の工事のみのため、  
RC造より早く竣工できます。

## ④高品質

浄化槽として認定を受けている製品を使用するため、  
品質・実績・信頼性をもった水槽です。  
内部は塩ビ管・SUS部品にて製作され、  
製品は全数工場にて漏水検査を実施した後、出荷します。

## FRPはRCと比べ短工期・低価格でご案内可能です。

FRP製管体とRC製躯体の産廃工期比較(当社比)

FRP製	処理槽本体 製造							※FRP製管体は現場工事と同時に工場にて生産。							
	山留工事 7日	土木工事 7日	基礎コンクリート 工事 7日	据付工事 3日	配管工事 3日	電気工事 3日	上部スラブ 7日	機器据付 3日	試運転 3日						
工期	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	7週目	8週目	9週目	10週目	11週目	12週目	13週目	14週目	
RC製	山留工事 7日	土木工事 7日	処理槽 躯体コンクリート工事 45日					処理槽 躯体防水工事 14日		配管工事 7日	電気工事 7日	機器据付 7日	試運転 3日		

約1.5ヶ月



設計条件が下記の場合の躯体別概算価格表 ※設計費用は別途

工期時期は夏季、地域は本州、物件現場までの距離は工場又は基点から100km圏内を想定  
 詳細な積算表はフジクリーン担当部署へお問合せ下さい

約3.5ヶ月

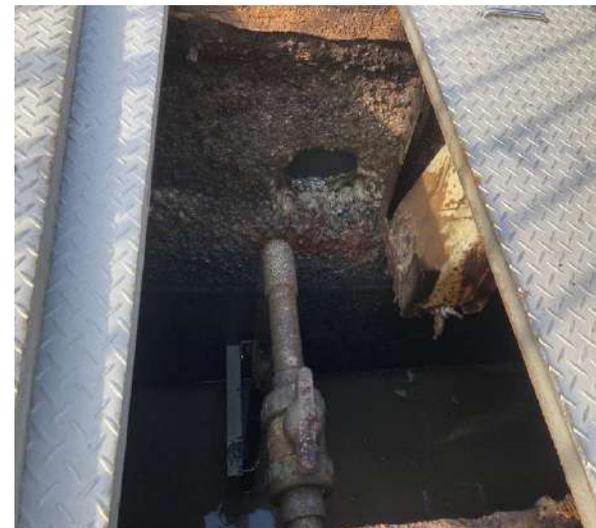
計画条件	処理水量：110m <sup>3</sup> /D 処理方式：担体流動方式	FRP製管体設置費用	約6,400万円
	流入水質：BOD800mg/L、SS500mg/L、n-Hex120mg/L 放流水質(下水道放流基準値)：BOD600mg/L、SS600mg/L、n-Hex30mg/L	RC製躯体設置費用	約7,500万円

RC製躯体の場合は産廃の業種によっては表面劣化による補修経費も10年目から必要になるケースがあるが、FRP製管体の耐久年数は財務省の減価償却資料による耐用年数30年以上である。

修繕に関して

RCは長期使用によりクラック・腐食発生は免れません。  
長期的に見て槽自体の修繕作業が発生します。

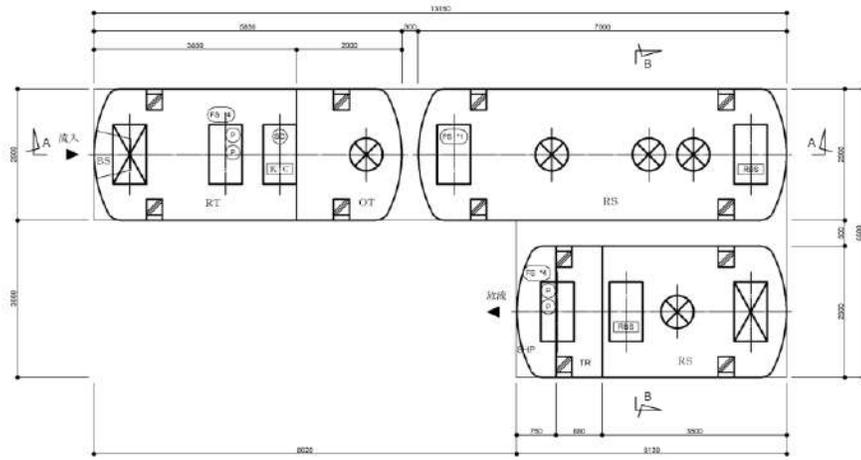
対して、**FRPは腐食の心配がなく長期的に安心してご使用いただけます。**



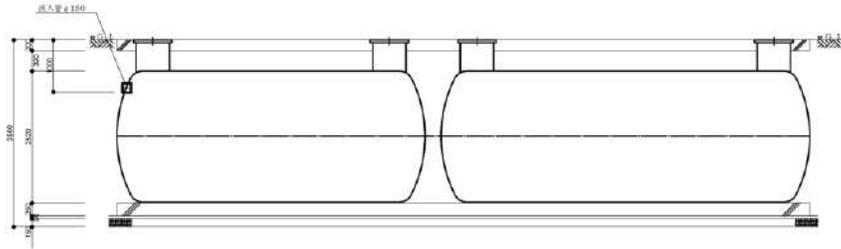
↑RC槽内部の腐食

# 参考図 (例)

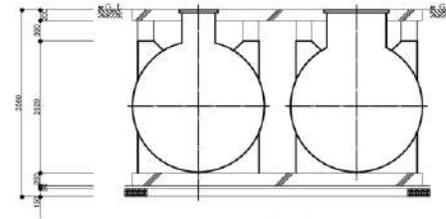
## セントラルキッチン廃水



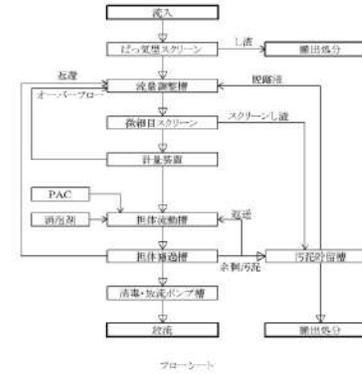
平面図 ※フレームは同等のみ記載



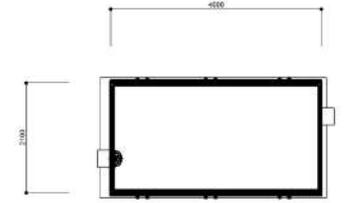
断面図(A-A) ※開口部は両端のみ記載



断面図(B-B)



フローシート



鋼板製機械室平面図

※機械室寸法は詳細設計時に変更となる事が有ります。



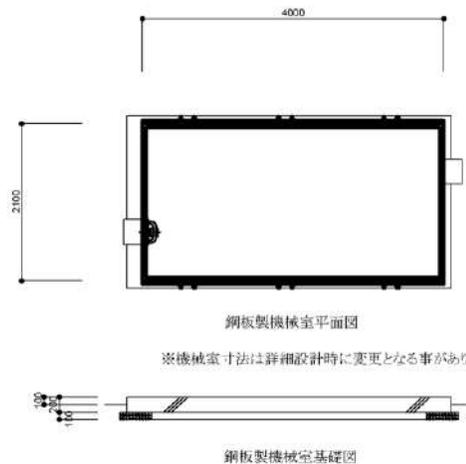
鋼板製機械室基礎図

水量【13m3/日】	pH	BOD(mg/l)	SS(mg/l)	n-Hex(mg/l)
流入水質	5.8~8.6	1700	500	150
放流水質	5.8~8.6	20	30	30

## 機器類設置スペース（例）

鋼板製機械室を利用し機器を格納します。  
意匠や騒音が気になる建物に提案します。

【格納物】  
ブロワ 3台  
排気ファン 1台  
薬注設備 1機



↑鋼板製機械室イメージ



↑ブロワイメージ



↑イメージ写真（排気ファン）



↑薬注設備イメージ

臭気削減・発生汚泥減容などユーザー様にメリットのある提案を致します。



↑活性炭吸着塔  
(高度処理)



↑活性炭脱臭装置  
(臭気低減)



↑排気ファン (臭気対策)



↑汚泥脱水機  
(汚泥減容)

# 施工手順一例

## FRP製排水処理施設 施工手順一覧



完成

### 仕上がりイメージ

上部アスファルト仕上げ

地下埋設方式

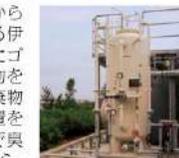
地上設置方式

植栽仕様

# 産業廃水処理槽 実績抜粋

※右記以外にも対応可能です。  
まずはお問い合わせください。

物件ごとのオーダー品です。

<b>事例01 洗卵工場</b> (株式会社花見岡ファーム) 宮城県 2017年 FGoRS GPセンター 河川 20m <sup>3</sup> /日 担体流動方式(還元系補助型) GPセンター(卵を洗浄殺菌し、重量ごとにサイズ格付け「Grading」し、包装「Packing」する施設)のオートローダー、洗卵機、泡洗浄器、トレー洗濯の排水を処理。集荷方式に応じてインライン方式はFGI型、オフライン方式はFGO型に対応可能。   ▲洗卵機作業の様子 ▲FRP管体の設置現場(地下敷設)	<b>事例02 人工透析病院</b> (医療法人 友愛会 伊丹クリニク) 北海道 2016年 FJR 病院 下水道 22.5m <sup>3</sup> /日 中和緩衝+担体流動方式 人工透析排水は薬液洗浄により、水素イオン濃度(pH)が3~10の値を示し、BOD(生物化学的酸素要求量)も約1,200mg/Lと負荷が高い。FJR型は生物処理の前段に中和緩衝槽が組み込まれており、薬剤の影響を低減。危険な薬液を使わずに、維持管理が可能。  ▲伊丹クリニク 外観 ▲人工透析排水処理ユニットFRP型(イメージ)	<b>事例03 水産加工工場</b> (有限会社マルタ水産) 宮城県 2016年 工場 下水道 18.3m <sup>3</sup> /日 担体流動方式 東日本大震災で被災した宮城県名取市。平成28年4月には、閉上の新工場で小女子の生産を再開。昔ながらの製法にこだわり、天日干しで魚本来のうま味を引き出す「天日干し小女子」が人気。獲れた小女子を加工する際の排水を処理する除害装置を導入。  ▲小女子の天日干しの様子  ▲FRP管体の設置現場(地下埋設) ▲地場のおいしい魚介類の販売や水産加工を行う	<b>事例02 産業廃棄物最終処理場</b> (伊江村) 沖縄県 2005年 産業廃棄物最終処理場 海 45m <sup>3</sup> /日 膜分離活性汚泥方式+活性炭吸着 沖縄本島の本部半島から北西約9kmに位置する伊江島。焼却処分されたゴミの焼却灰や、不燃物を埋め立て処分する廃棄物最終処理場に処理装置を導入。最後に活性炭で臭いや色を吸着させてから、海へ放流させる。  ▲活性炭吸着槽  ▲美しい海に浮かぶ伊江島(約22.4km)の伊江島
---	--	---	--

-  厨房除害
-  学校給食センター
-  弁当製造
-  製麺・パン工場
-  鶏舎洗卵
-  食肉加工
-  水産加工
-  野菜加工
-  乳製品加工
-  人工透析

<b>事例03 人工透析病院</b> 北海道 2016年 FJPII-S 病院 下水道 12m <sup>3</sup> /日 連続式中和処理 透析排水が下水道管を腐食する恐れがあるとして、札幌市より中和処理を求められ、地上設置型のFJPII-S型を導入。(地下埋設型はFJPII-M型)  ▲FRPユニットの建物内	<b>事例04 人工透析病院</b> 千葉県 2011年 FJP-S 病院 下水道 9m <sup>3</sup> /日 連続式中和処理 ターミナルビルや市街地ビル等のフロアを利用したクリニックでは、オプションでフロア床とかさ上げ床の間の狭い空間に中継ピットを導入。  ▲中継ピット(フロア床下)	<b>事例05 人工透析病院</b> 神奈川県 2014年 FJM-X 病院 河川 31.2m <sup>3</sup> /日 中和緩衝+膜分離活性汚泥方式 中和緩衝槽と膜処理方式を組み合わせることで、常時安定した処理水質を確保。中和剤を使用しないため、ランニングコストの低減も実現。  ▲FRP管体の設置現場(地下敷設)	<b>事例06 在宅血液透析</b> 群馬県 2016年 個人宅 河川 0.5m <sup>3</sup> /日 接触酸化方式 館林市では2016年に、在宅療養等支援用具として「在宅血液透析排水処理槽」を追加。補助事業第一号として、廃水処理ユニットを設置。  ▲FRPユニットの設置現場(地下敷設)	<b>事例03 学校食堂</b> 東京都 2015年 学校 下水道 42m <sup>3</sup> /日 膜分離活性汚泥方式 下水道地域だが、膜分離活性汚泥処理方式を採用。精密ろ過膜によって固形分を取り除いた処理水質は極めて良好で、トイレ洗浄水に再利用する。  ▲FRP管体の設置現場(地下ピット内)	<b>事例04 工場食堂</b> 東京都 2016年 工場 下水道 30m <sup>3</sup> /日 担体流動方式 下水道厨房除害装置。設置スペースが限られていたため、フジクリーンのI型フレームを用いた歩留計画を提案し、緑地スペースに地上設置。  ▲FRP管体の設置現場(地上設置)	<b>事例05 食肉・鮮魚加工工場</b> 東京都 2016年 工場 下水道 150m <sup>3</sup> /日 担体流動方式(汚泥濃縮機付) スーパー向けの食肉・鮮魚加工場の除害装置。限られたスペースに9本の管体を地上設置。ランニングコストを抑えるため、汚泥濃縮機を導入。  ▲FRP管体の設置現場(地上設置)	<b>事例06 パン製造工場</b> 茨城県 2016年 工場 河川 250m <sup>3</sup> /日 加圧浮上+膜分離活性汚泥方式(汚泥脱水機付) 全国に納入するパン製造工場から出る排水を処理。高濃度で大量の排水を効率よく処理するために処理前段に加圧浮上装置を導入。  ▲加圧浮上
<b>事例07 学校給食センター</b> 大阪府 2015年 FKR 学校 下水道 75m <sup>3</sup> /日 担体流動方式 フジクリーン独自の任付管体(I型)は、柱鉄筋を差し込み、上部からコンクリートを流し込むだけで槽本体、スラブ、ベースを完全に一体化。  ▲FRP管体の設置現場(地下埋設)	<b>事例08 学校給食センター</b> 愛知県 2016年 FKR-X 学校 河川 30m <sup>3</sup> /日 担体流動方式 夏休み、GW等の長期休暇には排水の流入を自動検知し、省エネモードに。従来品と比べ、電力消費量が年額で平均45%以上の削減(当社従来比)。  ▲制御盤が組み込まれた機械室	<b>事例09 学校給食センター</b> 静岡県 2017年 FKM 学校 河川 224m <sup>3</sup> /日 膜分離活性汚泥方式 膜処理方式の採用により、大水量でも処理槽はコンパクト。遠隔監視システムを導入することで、維持管理費用の低減と被中膜のトラブルを予防。  ▲膜処理ユニット(FRP管体内)	<b>事例10 酪農家</b> 北海道 2005~2010年 FSR 酪農家 地下浸透 3m <sup>3</sup> /日 担体浮上+担体流動方式 計根別農協が農林水産省の「中山間地域等直接支払制度」を活用して、搾乳機洗浄水の排水処理に着手。約100戸の酪農家に設置。  ▲搾乳の様子	<b>事例07 店舗調理場</b> 愛知県 2013年 スイマナガ 下水道 60m <sup>3</sup> /日 加圧浮上+担体流動方式 全国に店舗展開している大手スーパーに除害装置を導入。本件以外にも全国の店舗で導入され、維持管理もフジクリーンにて実施中。  ▲加圧浮上装置	<b>事例08 物流センター調理場</b> 大阪府 2016年 物流センター 下水道 65m <sup>3</sup> /日 担体流動方式(汚泥脱水機付) スーパーの物流センターに設けられた、セントラルキッチンの厨房排水を処理する除害装置。ランニングコストを抑えるため、汚泥脱水機を導入。  ▲FRP管体の設置現場(地下埋設)	<b>事例09 ホテル調理場</b> 福岡県 2017年 ホテル 下水道 20m <sup>3</sup> /日 担体流動方式 ホテルの厨房排水を処理する除害装置。宿泊客に考慮し脱臭装置を設置。活性炭がカートリッジ式になっているため、容易な交換がポイント。  ▲活性炭吸着装置(機械室内)	<b>事例10 製糖工場</b> 沖縄県 2017年 工場 河川 61.5m <sup>3</sup> /日 膜分離活性汚泥方式(汚泥脱水機付) 製糖工程の排水、洗排排水、マッドプレス洗浄水をまとめて処理する廃水処理ユニット。他にも沖縄県の製糖工場には多数の導入実績がある。  ▲FRP管体の設置現場(地下埋設)

アイコンの見方・・・ 地域 施工年 機種 種別 放流先 排水量 処理方式

アイコンの見方・・・ 地域 施工年 機種 種別 放流先 排水量 処理方式

# 参考資料～施工の様子～



↑ 処理槽設置の様子

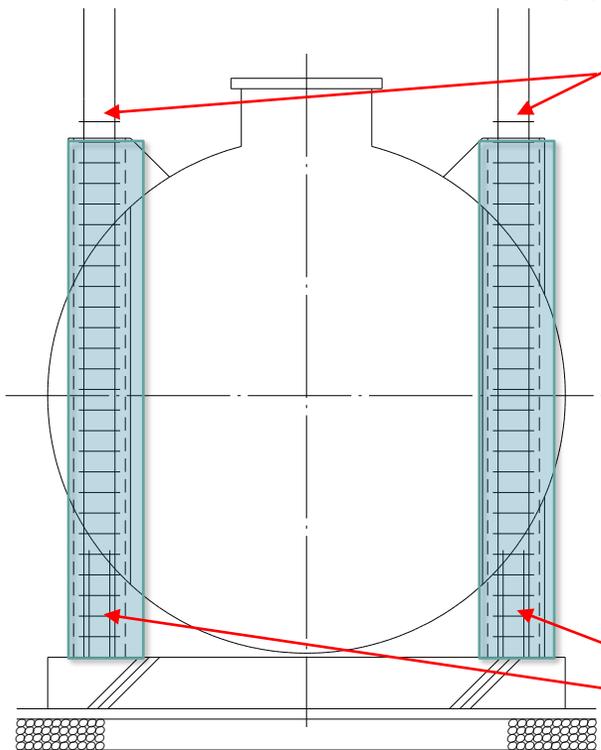


↑ 中継槽設置の様子

# I 型 管体のご紹介

I 型管体とは槽本体に鉄筋コンクリート補強柱用の型枠を一体化した**フジクリーン独自の仕様**です。  
付属の柱鉄筋を差し込み、上部からコンクリートを流し込むだけで、槽本体、スラブ、ベースが一体化し、固定することができます。  
**柱が内蔵の分、省スペースとなり土地を有効活用することができます。**

スラブ下補強柱型枠（現場手配）



## ☆鉄筋の結束は不要

予め主筋とHOOP筋を工場組立てし、現地納入します。  
現場作業は型枠上部より落とし込むだけです。

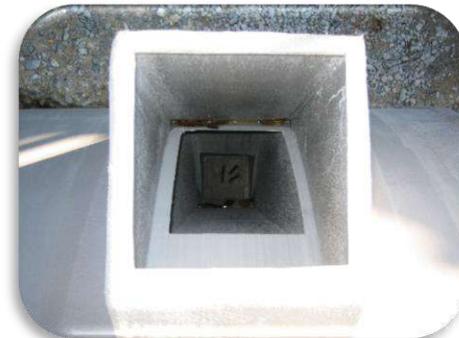
## ☆型枠は不要

補強柱と転等防止を兼用した“型枠”を工場にて本槽一体成型しています。

柱主筋定着筋（現場手配）



柱主筋定着筋、スラブ下の補強柱型枠は現場手配となります。  
詳しくは弊社の施工要領書をご覧ください。



# 製造工場の様子

支店・本社・工場が一体となってより良いご提案を致します

φ2500管体槽製造の様子⇒

カプセル槽、ブロワ製造の様子⇩



# 維持管理について

当社は維持管理にも力を入れているのが特徴です。決して売りっぱなしには致しません。

『フジクリーン維持管理ネットワーク』  
地元管理業者との良好な関係で納品後も手厚い管理フォローを致します。

弊社での自社管理もちろん可能です。



↑ 地元維持管理業者様との情報交換の様子

- ①**合併処理浄化槽に事業系廃水を流入させて良いか問い合わせあり。**  
浄化槽法の考え方に基づき、事業系廃水は専用処理槽を設置。
  
- ②**合併処理浄化槽に事業系廃水を流入させていたがために“水質悪化”。**  
法定検査未クリア、周辺住民からのクレームにより状況改善のため廃水処理槽導入。
  
- ③**厨房廃水をグリストラップのみで下水道放流。油脂が除去できず、下水道局より指摘あり。**  
状況改善の為、処理槽導入。
  
- ④**流入水質高負荷の為、既存槽の処理水質悪化。メンテナンスでは対応しきれないレベル。**  
現地採水の上、3次処理槽として導入。

前ページ・①**合併処理浄化槽に事業系廃水を流入させて良いか問い合わせあり。**  
この点について実際にあった例をご紹介します。

事務所を新設するにあたり、内部に惣菜工場などが併設される。  
し尿廃水と生産系廃水を「合併処理浄化槽」で処理したい。

検討可能か。



『合併処理浄化槽による総合排水処理』という方法で御座います。  
運用後のことを考えますと恐れ入りますが弊社ではあまり推奨している形ではありません。  
以降、そのご説明を致します。

## 総合処理可否のポイント

生産系廃水を合併処理浄化槽に流入させて良いかは下記の3点が論点になります。

- ①浄化槽に流入させて良い廃水と公になっている分野か。
- ②浄化槽自体に要求されている設備が付属しているか。
- ③汚泥処理の扱いが明確になっているか。

次ページからはこの3点についてご案内するとともに、弊社の考え方をご案内いたします。

総合処理はすべてに適応できるわけではありません。  
以下の業態に限り総合処理が認められている状況です。  
今回の『搾乳施設』は下記、いずれにも該当していません。

表-1 合併処理浄化槽への事業場排水の受け入れ可能な業種

産業分類	業種
123	野菜缶詰・果物缶詰・農産保存食料品製造業
1231	野菜缶詰・果物缶詰・農産保存食料品製造業
1232	野菜漬物製造業
127	パン・菓子製造業
1271	パン製造業
1272	生菓子製造業
1273	ビスケット類・干菓子製造業
1274	米菓製造業
129	その他の食料品製造業
1293	麺類製造業
1295	豆腐・油揚製造業
1296	あん類製造業
1298	惣菜製造業

産業分類:平成10年2月発行、日本標準産業分類

今回ご案内予定の合併処理浄化槽には「原水ポンプ槽」「流量調整槽」「汚泥発生量の増加に対応した施設」は付属しておりません。総合処理をする場合の以下の条件に合致していない状態で御座います。

## 5. 総合処理の注意事項

浄化槽により、小規模事業場の排水処理をおこなう場合の注意事項は、先の(旧)厚生省課長通知に、次のように記載されている。

- (1) 季節的、時間的な水量変動に対応するため、排水量の移送水量を調整可能な原水ポンプ槽、流量調整槽等の設備又は施設を付設すること。
- (2) 水量変動に伴う汚泥流出を防止するため、保守点検及び清掃の各回数の調整を行うこと。
- (3) 作業工程の変更等による水量変動に速やかに対応すること。
- (4) 負荷量の軽減対策又は変動対策のため、必要に応じて前処理設備又は施設の付設及び生物処理過程の補完を行うこと。
- (5) 汚泥発生量の増加に対応した施設を付設すること。

これらは、総合処理に限らず、産業排水処理全般について言えることでもある。その他に、食品排水は貯留や処理の過程で、原水起因の臭気が発生する場合があります、この時は脱臭装置を設けるなど有効な臭気対策が必要である。また、小麦粉原料などが処理槽内で発酵する場合や、アルカリ洗剤などが混入する場合には、PH中和装置を設け、生物処理が支障なく、行われるようにしなければならない。更に、熱水が多量に流入にする場合には、流入管路や処理槽の材質に配慮すると共に、水温を監視し、生物処理に問題のない水温(約40℃以下)とする必要がある。

発生する汚泥の扱いは総合処理にすると「一般廃棄物」になりメリットがありますが、仮に油分が多くなるとその扱いが曖昧になってしまいます。

## 6. 総合処理の課題

総合処理は小規模事業場からの汚濁負荷軽減策として有効であることは衆目の一致するところである。しかし、(社)浄化槽システム協会の小規模事業場排水研究会(参加10社)でも、その実施例は聞かなかった。その原因として、通達(通知)により浄化槽に受け入れ可能な雑排水の種類を拡大したが、依然、浄化槽法の雑排水括弧書きに関する記述の印象が強く、確認申請時に、窓口でのトラブルが懸念される。

また、浄化槽では、建築用途別処理対象人員算定基準(JIS A 3302-2000)により人槽や水量、濃度が明確になっているが、総合処理とした場合は、製造物により、知識と経験から水量及び汚濁負荷を計算しなければならない。この計算結果を基に、国土交通大臣の認定を得た浄化槽では、各水質項目が流入条件に見合う範囲内かの確認が必要となる。

更に、(旧)厚生省課長通知に「当該受け入れを行った合併処理浄化槽からの引き出し汚泥の取扱い」として、総合処理から発生した汚泥は全て一般廃棄物とみなし、その運搬及び処理並びに処分は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和45年法律第137号)によるとあり、産業排水処理施設を別途設けるよりは、汚泥処分費が安くなる利点がある。しかし、汚泥に油分などが多い場合、一般廃棄物扱いとして頂けるかの心配も残る。

総合処理の技術的な課題として、やはり負荷変動対策が最大の課題であり、製造業を営む以上、増産や製造物の変更はあるものと覚悟しなければならない。その場合、経済性の面を考慮しつつ、生物処理槽の他、流量調整槽、汚泥貯留槽などの補完設備や送風機、ポンプなどの機器類にどの程度余裕を持たせられるかが問題となる。

また、一般的に事業場排水は生活排水より濃度が高いので、汚泥の発生量が多く、運転費に占める汚泥処分費のウエイトが高い。今後、汚泥脱水機に代わる、安価で、運転の容易な汚泥減容化装置や汚泥発生量の少ない処理システムの開発が求められている。併せて、排水中の油分の経済的な処理システムの開発も重要である。

## 【まとめ】

- ①総合処理可能な業態に合致していない。
- ②総合処理をする処理槽条件に合致していない。
- ③流入後の浄化槽水質悪化により、検査不適合の可能性がある。  
⇒浄化槽は年1回の検査が義務であり、性能を発揮できていなければ「不適」の結果を受けます。  
改善することと指示が来ることとなります。  
通常の使用では問題ないところに生産系廃水を流入させることは検査を受けるうえでリスクと考えます。

以上のように、合併処理槽で処理可能な条件に合致しておりませんので、流入はNGです。

計画時・運用時の懸念点があることから生活排水と生産排水は分けて考えることをお願いしております。

フジクリーン工業では搾乳施設の廃水を対象とした処理槽をご案内可能です。

ご理解ご検討どうぞよろしくお願い致します。

## 処理槽検討の重要項目

**廃水量**：\*\*m<sup>3</sup>/日（ピーク時の水量で設定する。お施主様からの指示値で決定するもの）

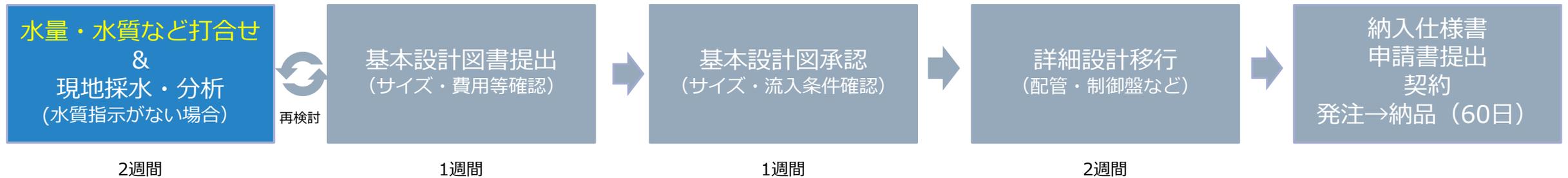
**流入水質**：BOD,SS,n-Hex,pHなど（お施主様からの指示値or現場採水値で決定するor文献値）

処理槽提案にあたり、上記項目は必須です。サイズや金額に大きく影響します。  
現地にすでに施設がある場合は、水質はその場で採水した値を用いるのが現状に則していると言えます。  
御施主様からの指示値でも構いません。

# 初期打ち合わせから納品までの流れ

おおよそ以下のように進めて参ります。

ここからスタート



初期ステップ  
**ヒアリングシートへの回答及び現地採水スケジュールの確認**  
(採水後分析結果が出るのは2週間後)

# 採水実施のイメージ（流入水質設定の為）



## 【要確認事項】

採水箇所の確認（柵・トラップなど）

採水日の確認（生産多い日が良い）

※採水は1日作業です。

※汚水と別れていることが前提です。



# 水質分析について

必要に応じて”生分解性試験”を行います。  
当該廃水の微生物での分解性を評価します。

試験結果は以下の判断に用います。

- ・ 弊社でお取り扱いが可能か
- ・ 処理槽提案の際の処理フロー提案

結果を受けてより実情に沿った提案につなげることが可能です。

この試験の結果、弊社ではお取り扱いができない場合もございますのでその際にはご理解いただけますと幸いです。



最終納品物（事前イメージ共有の為） ※条件により異なります



設置状況



搬入状況



機器設置状況

# 廃水処理でお困りのことがあれば…

ぜひお声がけください。  
お客様の状況に合わせ、改善提案をさせていただきます。



# 提案～維持管理まで一括フォロー致します



↓産業廃水処理槽担当



美しい水を守る

フジクリーン工業株式会社

東京支店

営業課長 小笠原 健人



〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 第27ナビル 2階  
TEL 03-3288-4511 FAX 03-3288-5100  
携帯 080-2613-9284  
E-mail:kento\_ogasawara@fujiclean.co.jp  
<https://www.fujiclean.co.jp/>

**排水処理にお困りであればまずフジクリーン工業へ御申しつけください**